

2018 年度 全学 FD フォーラム 「学習・教育に関する達成目標の設定とその評価方法 －これからのシラバスに要求されていること－」 開催報告

2018 年 11 月 29 日（木）に、全学 FD フォーラムを寝屋川キャンパス 551 教室にて開催しました。枚方キャンパス メディックスホールへの中継も行い、ご多忙の折、合計 182 名の教職員の皆さまにご参加いただきました。

今年度の FD フォーラムでは、「シラバス」を中心に置き、① 今年度から開講された全学共通の前期科目「大学教養入門」の紹介、② シラバス作成上の注意事項と事例報告、③ 教務課からの「2019 年度シラバスについてのお願い」を行いました。①「大学教養入門」の紹介では、伊藤教務部長より開講の経緯、初年度に学生が主体的に「学び方を学ぶ」ことの必要性、学生が知恵を出し合って解を見つけようとするための本科目の仕組みについて説明がありました。アクティブラーニング入学式から学習キックオフミーティング、大学教養入門という学修の流れもご紹介いただきました。また、伊藤教務部長からは、これらに引き続き、② シラバス作成上の注意事項の説明と JABEE 基準のシラバス事例の報告がありました。薬学部奥野准教授には、薬学部科目「キャリア形成 I」での評価におけるルーブリック利用例をご紹介いただきました。厳格な成績管理・公表が求められる中、ルーブリックを利用すれば、評価する側と評価される側の認識が共有され、また、評価の観点が統一されることから複数の評価者による評価のズレを防ぐことができます。また、評価項目を具体的に示すことで学習者の意欲向上にもつながります。ただし、学習者が評価される点のみに傾注する可能性があり、ルーブリック評価を導入して終わりではなく、その後の改善が重要であることが強調されていました。③ 教務課からの「2019 年度シラバスについてのお願い」では、浦田教務課長から、これからのシラバスに要求されていることに合ったシラバス執筆のための注意事項の説明などがありました。



フォーラム終了後に Moodle にて回収しましたアンケートでは、本フォーラムへのご感想・ご意見、FD 委員会や今後の FD フォーラムに対するご意見を数多くいただきました。今後の FD 委員会活動の参考とさせていただきます。アンケートへのご協力ありがとうございました。